

ミスミグループ

2022年3月期 上期決算報告

2021年10月29日
代表取締役社長
大野龍隆

目次

1. 21年度上期決算の概要	2
2. 21年度通期連結業績見通し	13

21年度上期決算の概要

為替レート(対円)	FY20上期 実績	FY21上期 実績
USドル	106.7円	110.2円
ユーロ	121.4円	131.0円
人民元	15.2円	17.0円

21年度上期市況と当社の取り組み

顧客がコロナ禍後の新常态を模索する中、**市況は多少混乱気味**

- ・ 強い需要を背景に、半導体始め、各種材料、部品の品薄状況
- ・ コロナ影響により一部地域ではサプライチェーンが混乱
- ・ 顧客の稼働率は**高位ながら波動振幅は極めて不安定**

当社はこれら市況影響を受けつつ、

- ・ 中国に牽引される形で、国内含む全地域で需要が回復
- ・ 昨年から取り組んでいる**収益改善徹底**を継続
- ・ グローバル生産・供給網を駆使して**確実短納期堅守**に尽力
- ・ しかしながら**一部で欠品、工場稼働制約(越)**の影響を受ける

好・悪材料ある中で上期は計画過達、半期として過去最高の業績

21年度上期 決算概要

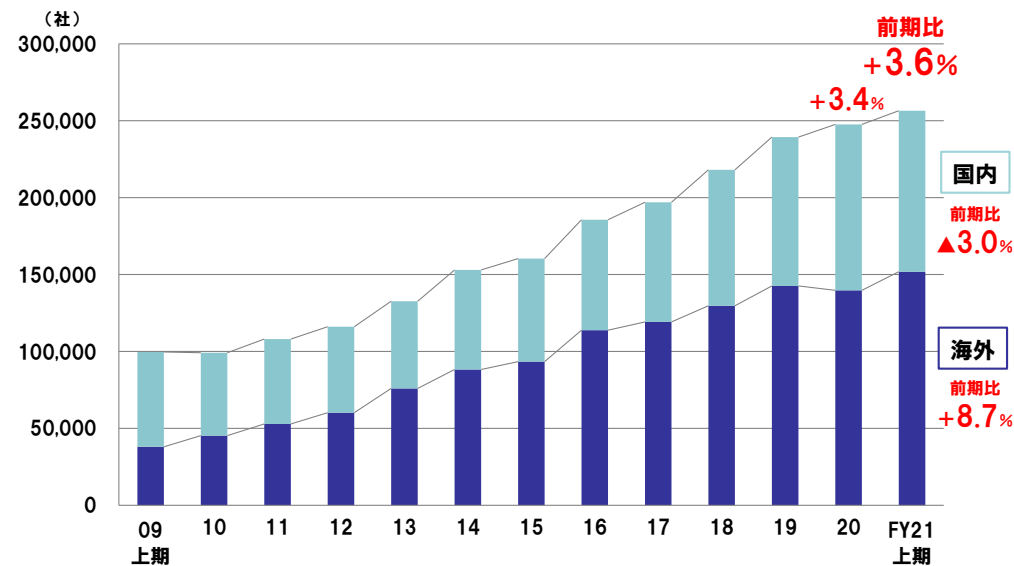
売上高、営業利益ともに半期決算として過去最高を更新
 大幅増益要因は①昨年から着手した収益改善②売上増③為替影響

項目	FY20上期		FY21上期		
	実績	7/30 修正計画	実績	増減率	
				対前年	対計画
売上高	143,302	179,900	182,238	+27.2%	+1.3%
営業利益	9,126	25,500	28,494	+212.2%	+11.7%
利益率	6.4%	14.2%	15.6%	+9.3pt	+1.5pt
経常利益	9,108	25,400	28,694	+215.0%	+13.0%
当期利益	6,708	18,600	20,831	+210.5%	+12.0%

4

21年度上期 顧客数推移

海外：前年のLD影響から回復、全地域でコロナ前水準を越す顧客増
 国内：コロナ影響を受けなかった前年に比べ微減も単価は大幅上昇



5

21年度上期 事業別売上高

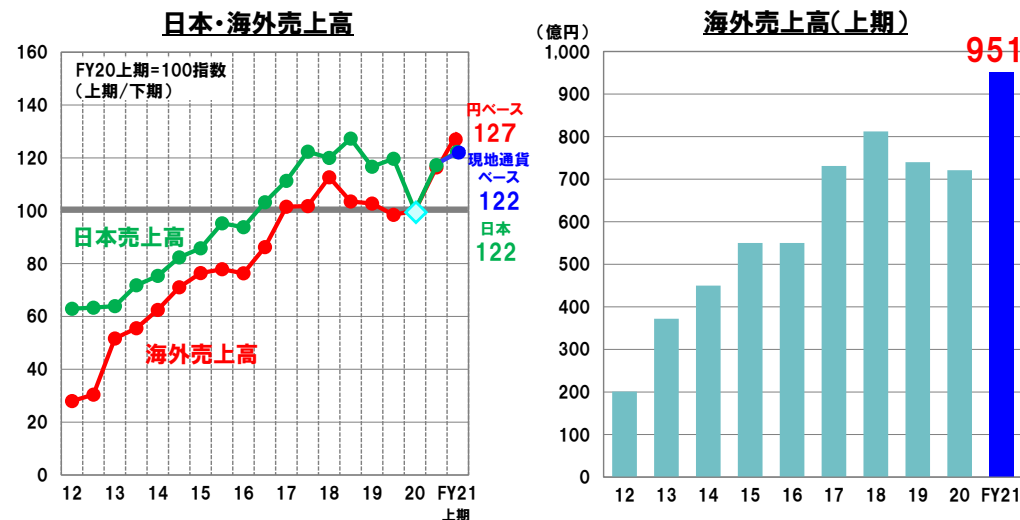
FA 中国の継続成長に加え、日・亜・欧・米全地域で回復
 金型部品 米・日・亜を中心に自動車関連需要を着実に獲得
 VONA 旺盛な自動化需要を背景に国内外で回復基調継続

項目	FY20上期		FY21上期	
	実績	実績	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	143,302	182,238	+27.2%	+22.2%
FA事業	47,810	59,073	+23.6%	+18.5%
金型部品事業	31,028	37,515	+20.9%	+14.8%
VONA事業	64,464	85,649	+32.9%	+28.5%

6

21年度上期 日本・海外売上高

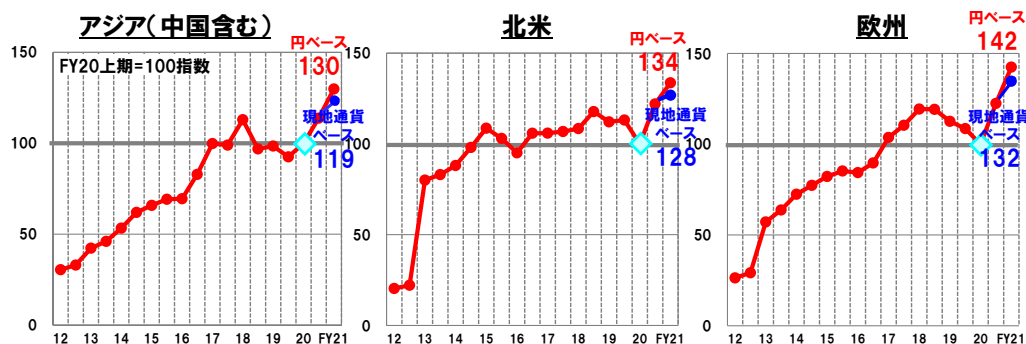
日本 半導体関連を中心に需要回復も過去最高に対しては途上
 海外 全地域で増収、上期売上高として過去最高を更新
 海外売上高は現地通貨ベースで22.2%増、海外比率は52%



7

21年度上期 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中は5G・二次電池、亜は自動車・半導体関連がけん引
米・欧 EVを軸に製造業全般が回復、物流・医療等の需要も獲得



中国 124(111)
アジア 138(131)
()内は現地通貨ベース

為替レート(対円)	FY20上期 実績	FY21上期 実績
USドル	106.7円	110.2円
ユーロ	121.4円	131.0円
人民元	15.2円	17.0円

8

21年度上期 事業別営業利益

コロナ影響による活動制限を前提に、上期販管費は計画時点で抑制
収益改善/売上増/為替影響で各事業とも大幅増益

項目	FY20上期		FY21上期			
	実績	利益率	実績		対前年増減率	
			利益率	円ベース	現地通貨ベース	
合計	9,126	6.4%	28,494	15.6%	+212.2%	+175.0%
FA事業	6,128	12.8%	12,796	21.7%	+108.8%	+90.6%
金型部品事業	1,273	4.1%	5,091	13.6%	+300.0%	+266.4%
VONA事業	1,725	2.7%	10,606	12.4%	+515.0%	+441.1%

百万円

9

21年度上期 収益改善効果

収益改善の主な取り組み

- ・ 市場での競争性を鑑みた価格設定の適正化
- ・ 高付加価値商品の販売強化による商品MIXの良化
- ・ 生産、調達のコストダウン
- ・ 非効率業務の抜本的見直し等による販管費抑制

下期以降も従来の取り組みを強化すると共に

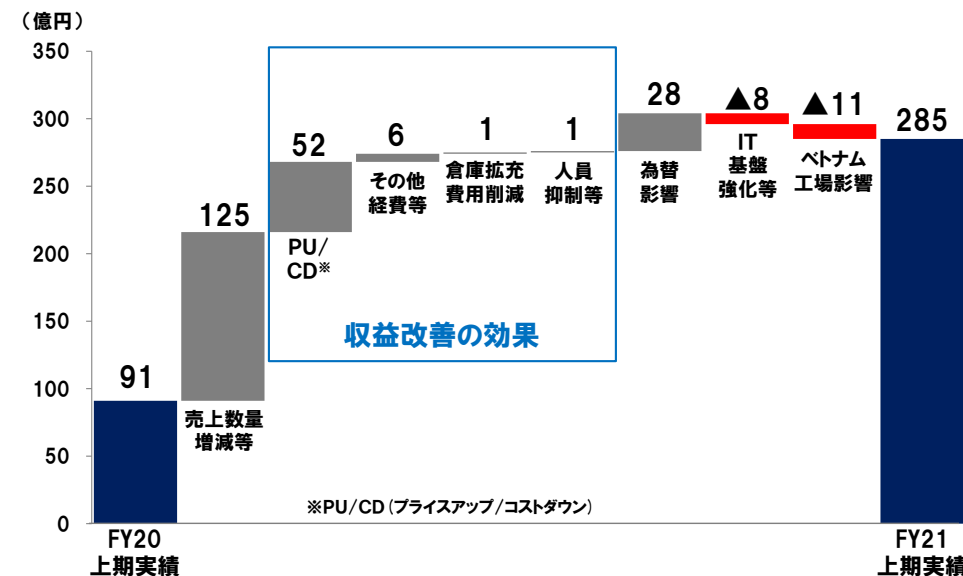
- ・ 低収益商品の販売中止・サービス停止
- ・ VONA事業における商品の絞りと集中

等により、収益改善策を継続・強化

10

21年度上期 営業利益増減分析(前年比)

売上数量増、為替影響に加え、収益改善は当初計画を上回る効果
IT基盤強化やベトナム工場影響への対応費用を吸収し大幅増益

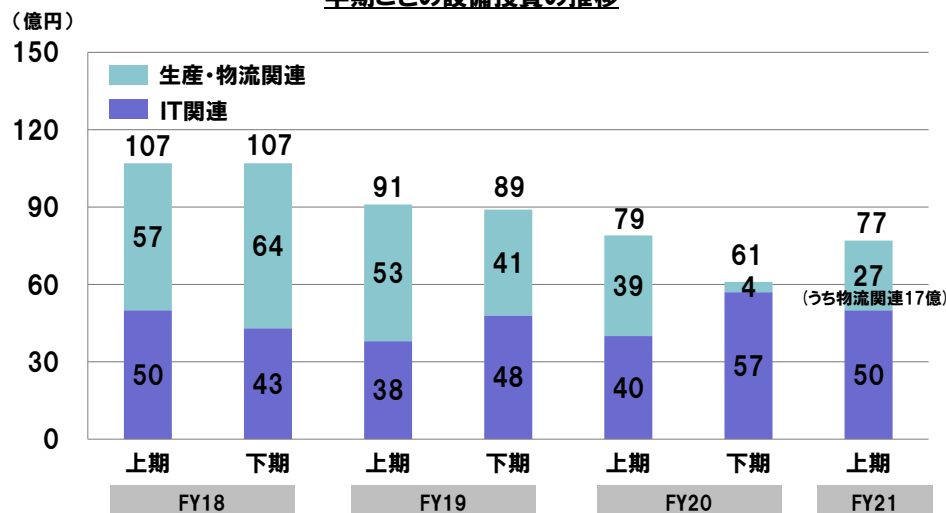


11

投資実績

基幹システム刷新等のIT強化投資は将来を見越し先行発動
需要動向を踏まえて抑制した生産・物流投資は下期より積極展開

半期ごとの設備投資の推移



12

21年度通期連結業績見通し

為替レート(対円)	FY20 実績	FY21 下期計画	FY21 通期計画
USドル	106.2円	107.0円	108.7円
ユーロ	123.7円	128.0円	130.1円
人民元	15.6円	16.5円	16.8円

13

21年度 今後の見立て

世界的なものづくり構造改革の潮流、中長期的自動化需要の高まりは不変も、**不確実性高まる**

- ・ エネルギー、原材料調達難、サプライチェーンの崩れ
- ・ 中国リスク(景気後退、電力制限等)の高まり
- ・ **地政学リスク低減シナリオ、主要メーカーの戦略更新に要注視**

当社は

短期的: 確実短納期の供給網駆使に留まらず、一層の**強靱化**に着手、変化対応力を強化

長期的: 持続的成長に向けて、**事業モデルの革新を継続強化**

14

21年度 通期業績見通し

上期過達分を反映し予想を修正、下期は計画時点の慎重な見方据置
成長に向けた打ち手を積極的に展開するとともに収益改善を徹底

百万円

項目	FY20 実績	FY21				
		修正計画 (10/28)	対前年増減率		対修正計画(7/30)	
			円ベース	現地通貨 ベース	円ベース	現地通貨 ベース
売上高	310,719	356,000	+14.6%	+11.8%	+0.6%	+0.3%
営業利益	27,199	48,500	+78.3%	+65.8%	+6.6%	+5.6%
利益率	8.8%	13.6%	+4.9pt	+4.2pt	+0.7pt	+0.7pt
経常利益	27,189	48,500	+78.4%	-	+7.3%	-
当期利益	17,138	35,200	+105.6%	-	+6.7%	-

15

21年度 事業別売上高見通し

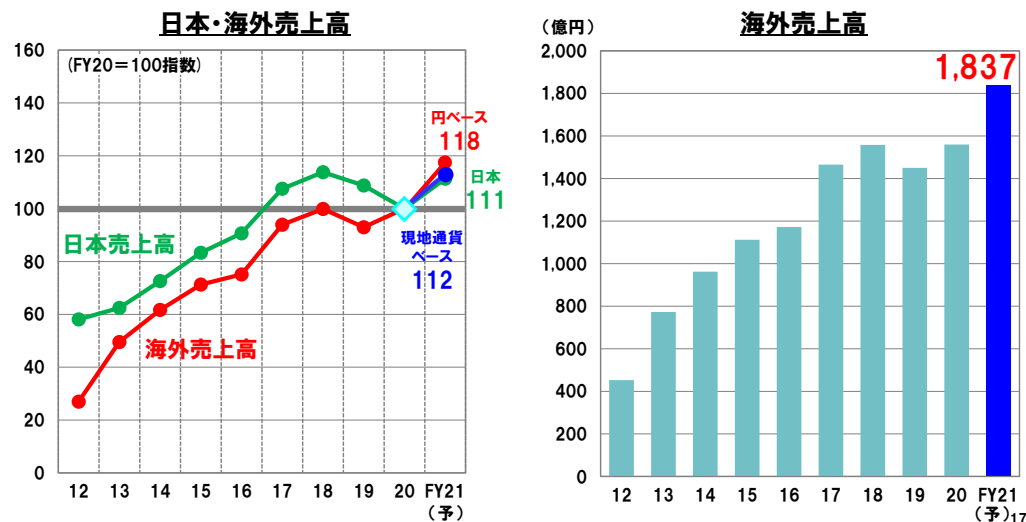
EV関連等の自動化需要は継続するも足元懸念材料の影響を織込
FA、VONAは過去最高更新の見込み、金型も年間で成長を確保

項目	百万円			
	FY20 実績	FY21 修正計画 (10/28)	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	310,719	356,000	+14.6%	+11.8%
FA事業	102,244	119,321	+16.7%	+13.8%
金型部品事業	66,871	73,261	+9.6%	+6.2%
VONA事業	141,602	163,419	+15.4%	+13.1%

16

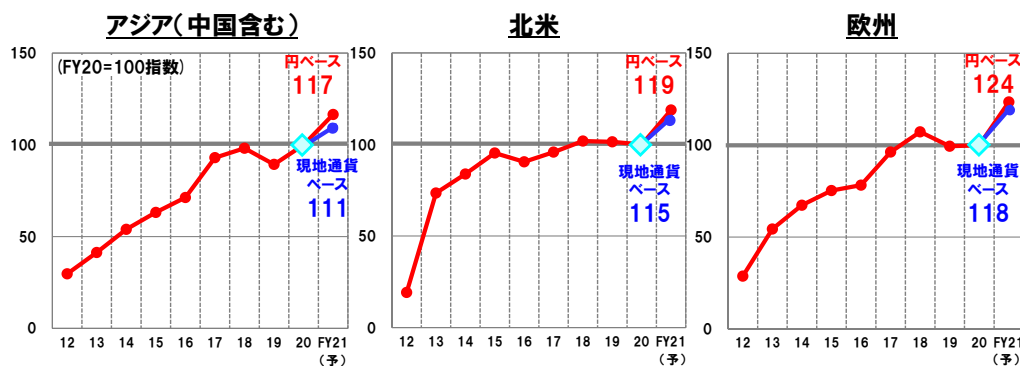
21年度 日本・海外売上高

日本 半導体・EV関連の需要継続も、部品調達難等を懸念
海外 自動化需要高まる一方で地政学的リスクなども考慮
海外売上高は現地通貨ベースで11.8%増、海外比率は52%



21年度 地域別売上高(現地通貨ベース)

アジア 中・亜とも下期不透明性高く慎重な見方、年間で対前年伸長
米・欧 EVや医療等の需要開拓継続も他地域同様に不透明



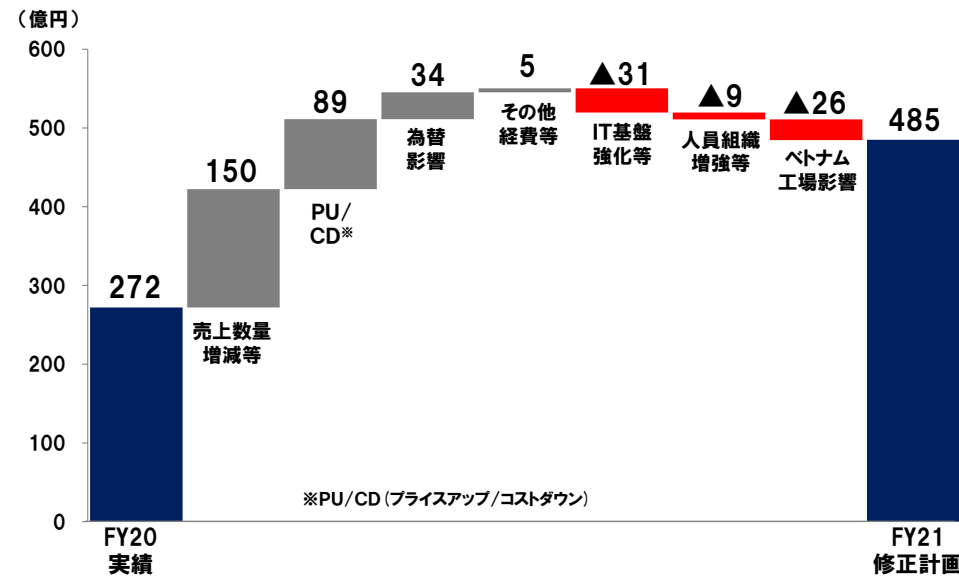
中国 113(105)
アジア 122(118)
()内は現地通貨ベース

為替レート(対円)	FY20 実績	FY21 下期計画	FY21 通期計画
USDドル	106.2円	107.0円	108.7円
ユーロ	123.7円	128.0円	130.1円
人民元	15.6円	16.5円	16.8円

18

21年度 営業利益増減分析(前年比)

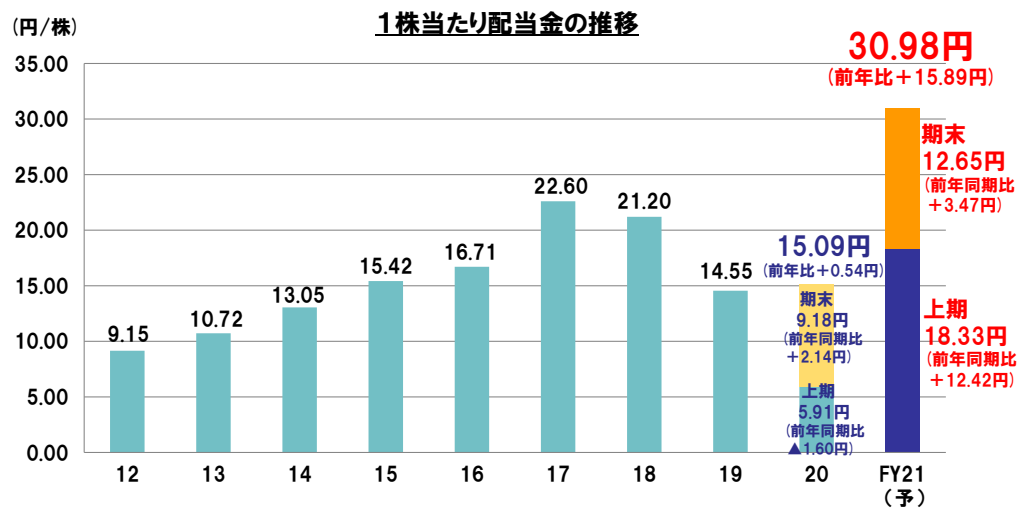
売上増、収益改善、為替により計画過達、支出増を大きくカバー
持続的成長に向けたIT基盤・人員組織強化を下期から積極化



19

株主還元

21年度上期配当は18.33円で前年同期比12.42円増
 年間配当は30.98円、前年比15.89円増、過去最高更新を見込む



※2015年7月1日をもって1株につき3株の割合で株式分割を実施したため、配当金についても適及調整しております。

まとめ

長期的に自動化需要拡大の見方は不変、競争優位性強化を徹底

